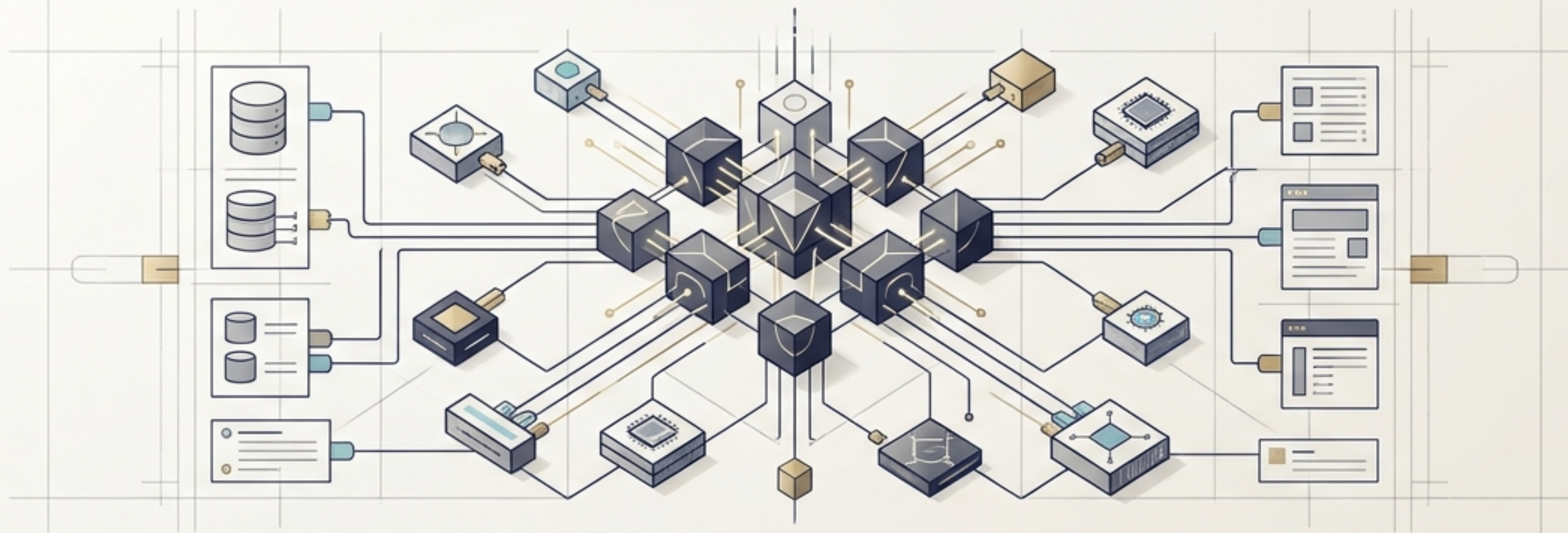


次世代知財AIの完成： サマリア2026 ブループリント



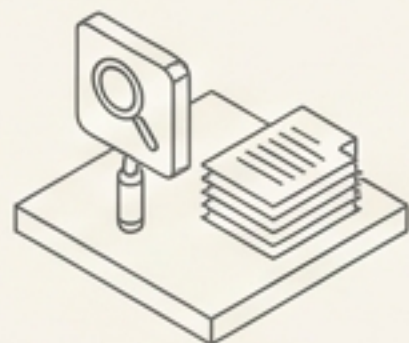
読解支援ツールから「知財業務全プロセスの
AI基盤プラットフォーム」への質的転換

点の支援から、線の統合へ

～2025年：従来のサマリア

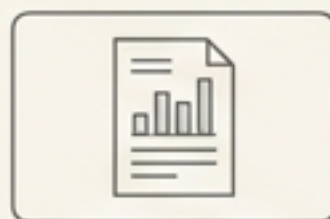
フェーズ

特定業務（特許文書の読解・調査）の局所的支援



コア機能

解析レポートと検索支援



レポート生成



検索エンジン

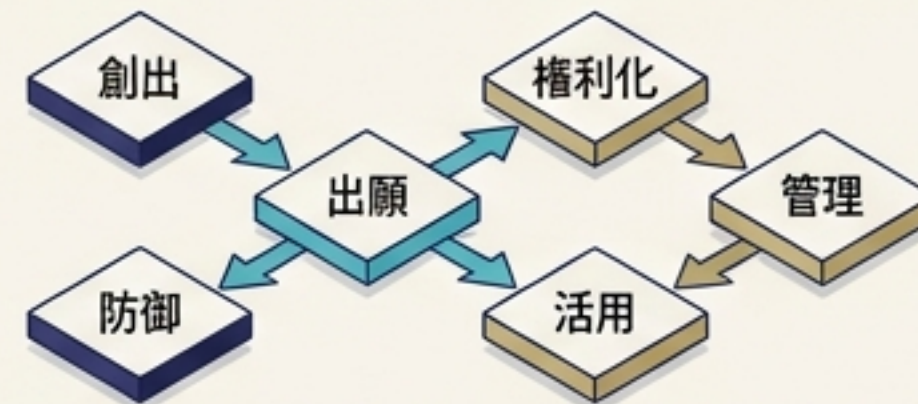
実務
インパクト

担当者の作業時間削減

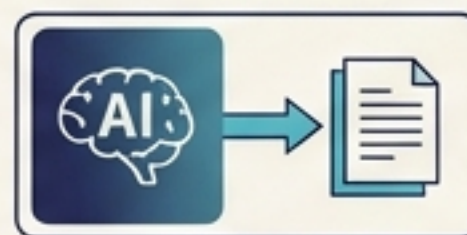


2026年～：次世代プラットフォーム

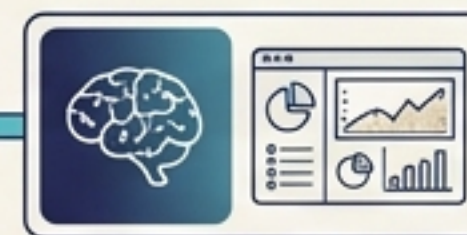
全知財ライフサイクルの
一気通貫カバー



自律的ドラフト生成・定量的AI分析・SaaSエコシステム連携



自律ドラフト



定量的AI分析



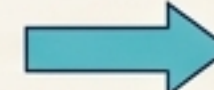
SaaSエコシステム連携

知財実務の完全内製化と戦略的リソースシフト

知財実務の全全
的IPワークフロー



完全内製化



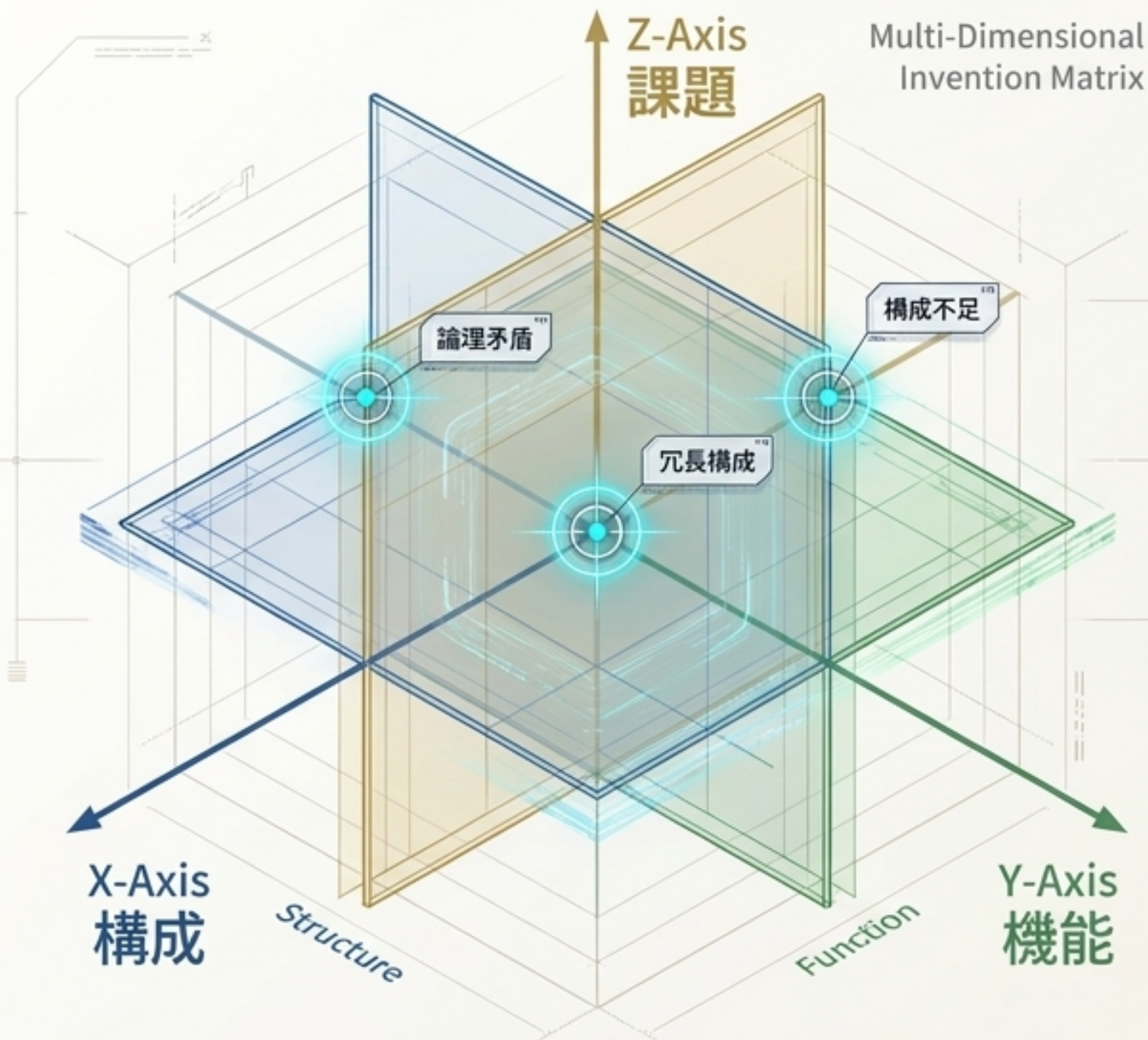
戦略的リソースシフト

「特許情報サービス事業者として日本初のAIエージェント搭載」を軸に、設計思想を根本からアップデート。
基本特許も12件（2025年末時点）へと到達。

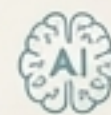
2026年上半期に完成した 「知財ライフサイクル全域カバー」 の全体図



Phase 1: ゼロからの創出（発明提案書作成支援）



試動フレームワーク（AI実装）



失敗学の権威・畑村洋太郎氏の理論をベースに、「構成・機能・課題」の3軸から論理矛盾・構成不足・冗長構成をAIが自動検出。

12種のアイデア創出エンジン



TRIZ、KJ法、SCAMPER等をAI上で実行し、発明をブラッシュアップ。

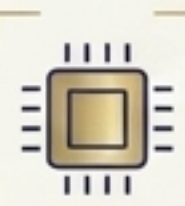
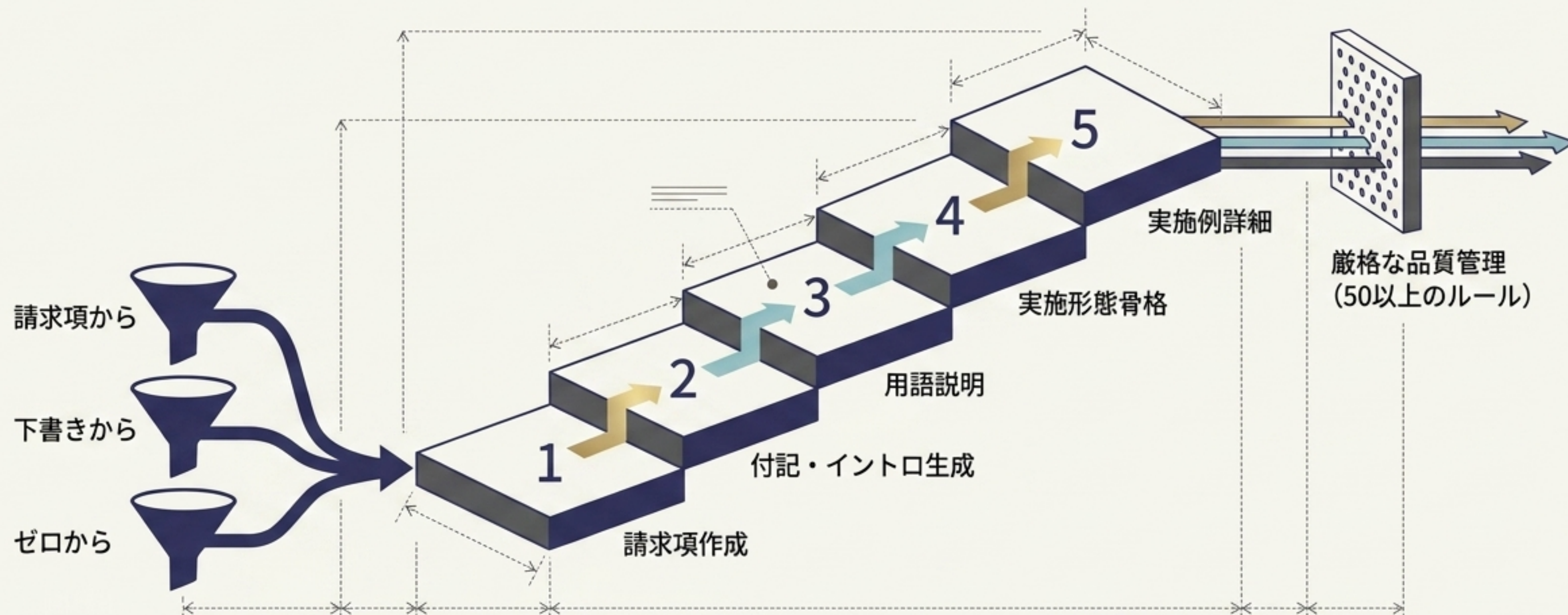
グローバル先行技術調査



JP・US・EP・WOを網羅。新規性・進歩性のコメント付き調査報告書を自動生成。

作成された提案書データは、そのまま「明細書作成支援機能」へシームレスに引き継がれます。

Phase 2: サマリア史上最大の進化（明細書作成支援）



ハイブリッドAI制御

Ask（質問）とAgent（編集）の2モード。
重要特許取得済みの独自生成エンジン。



厳格な品質管理

50以上のルールに基づく記載不備検出と
重要度ランク付け。

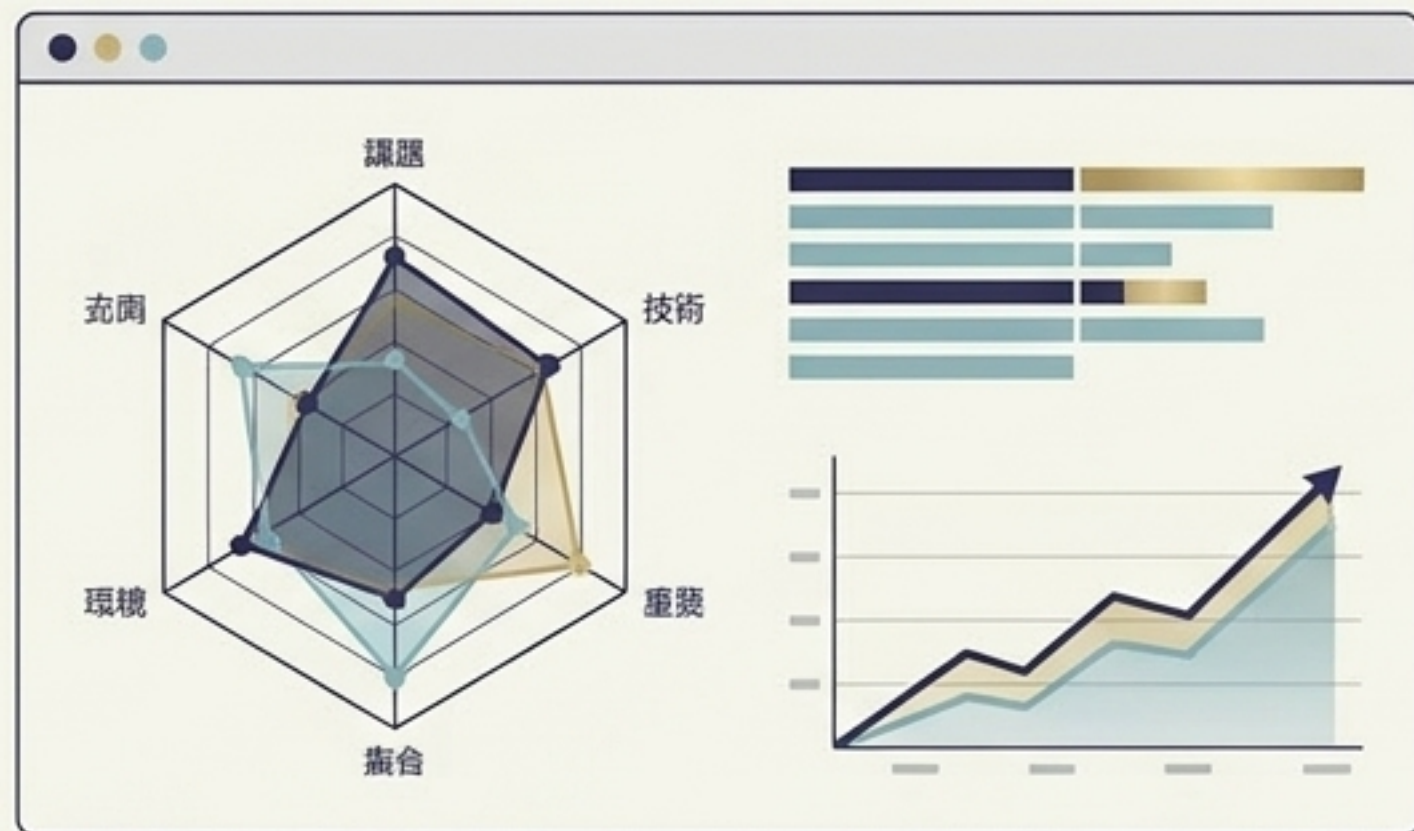


シークレットモード

生成AIを一切使用しない、サーバー非保存
のルールベース・チェック環境を完備。

Phase 3: 戦略的権利化（拒絶対応ワークフローの完全内包）

AI定量分析



ホワイトスペース分析、競合動向、技術トレンドなど、9種のプリセットを搭載。
定性・定量の両軸による高度な分析報告書をワンストップで出力。

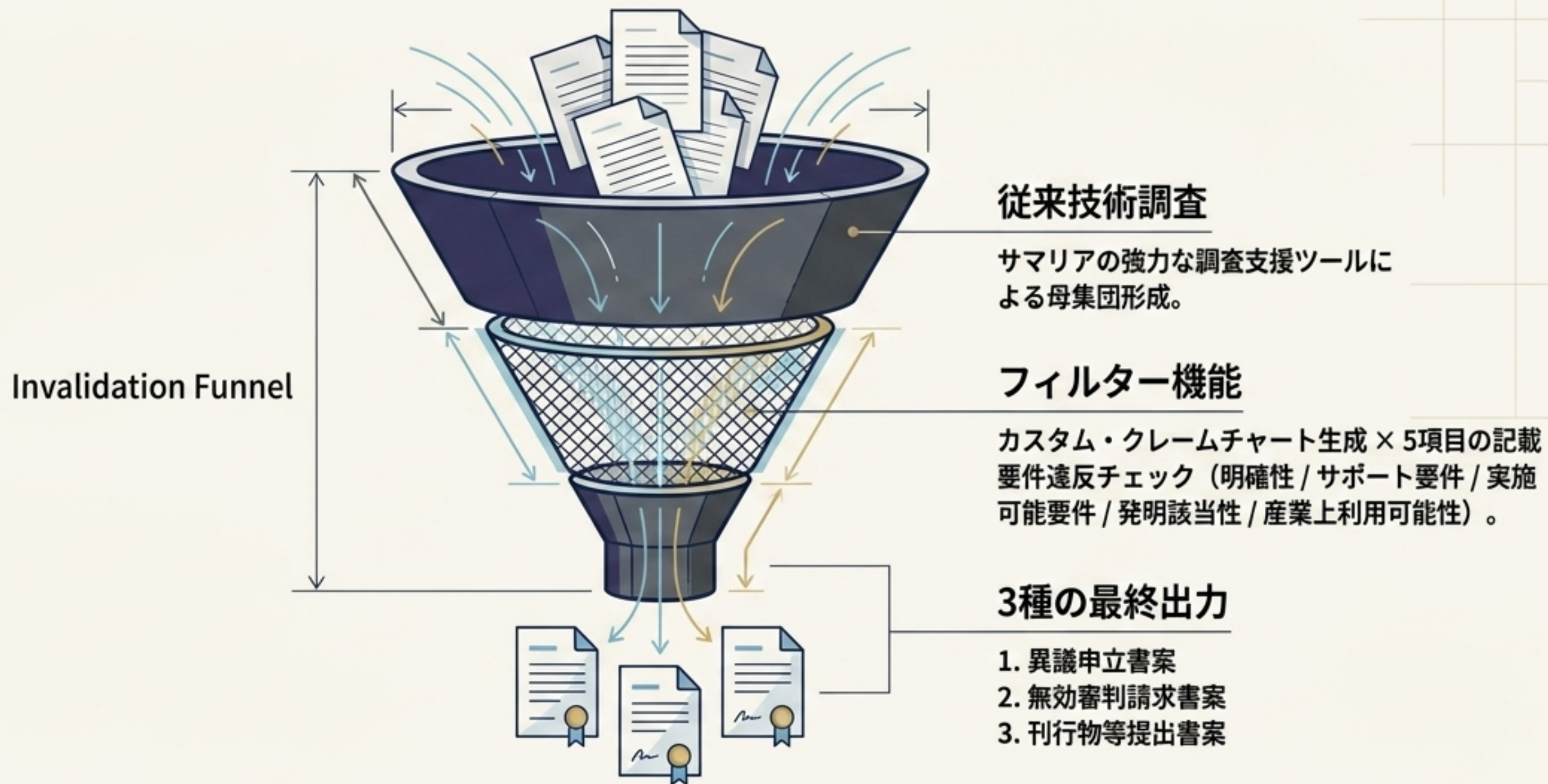
応答方針・書面作成

The interface shows a document editor with a toolbar at the top. The main content area contains a text block with several callout boxes (speech bubbles) pointing to specific parts of the text, indicating a review or editing process. The text is in Japanese and discusses strategic responses.

意見書案作成：Word標準のコメント機能を利用した注記付き出力。
補正書案作成：校閲機能による変更履歴付き出力設計。

従来の「解析レポート作成」から「応答方針の決定」「具体案の生成」まで、すべての対応業務をサマリア内で完結。

Phase 4: 攻めの知財（特許無効化書面作成支援・業界初）



調査から無効化書面の素案作成まで、一切の分断なく一気通貫でサポートします。

Phase 5: 継続的防衛（定期監視と一括指示の完全自動化）



検索式駆動

従来必須だった「公報番号リストの別途準備」を撤廃。検索式を入力するだけで、対象集合の作成から自動処理までを完結。



SDI (定期監視) スケジューラー

日次・週次・月次の柔軟なタイミング設定。



リスク検知

競合の出願動向モニタリングと権利侵害リスクの早期発見を自動化し、人的リソースの監視コストをゼロへ。

SaaS連携エコシステム：最強の知財布陣の構築

サマリア単体の進化に留まらず、外部特化型SaaSとのAPI/サービス連携により、自社の知財インフラを完全に近代化します。

審査官ラボ（統計・戦略）
審査官ごとの傾向・査定率の統計的体系化。サマリアの拒絶解析と連携し「データに基づく戦略的応答」を実現。

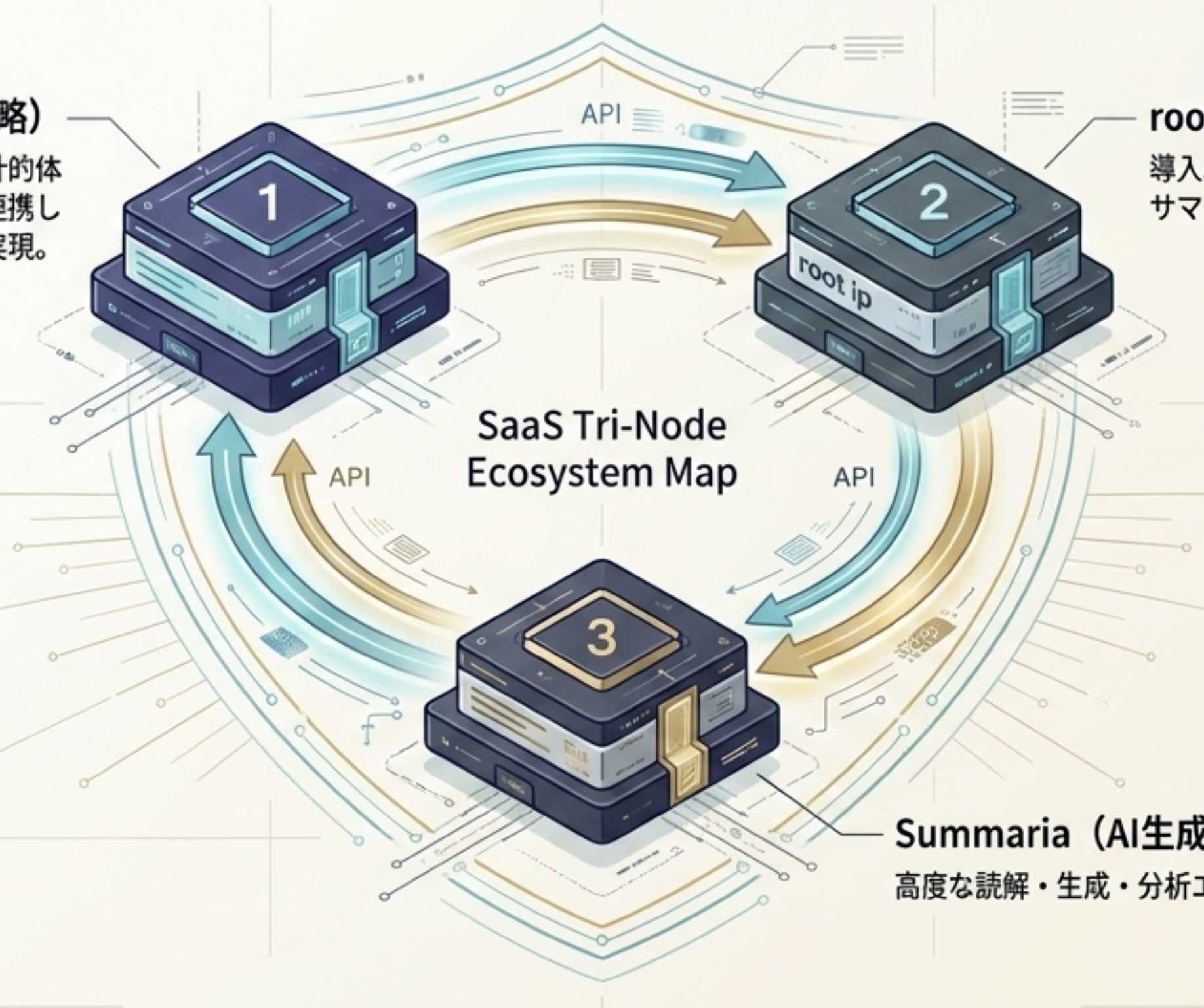


root ip クラウド（案件管理・守り）
導入360社・継続率97%の案件管理基盤。サマリアのAI生成（攻め）とシームレスに結合。



SaaS Tri-Node
Ecosystem Map

Summaria（AI生成・攻め）
高度な読解・生成・分析エンジン。



Impact & Traction：次世代知財実務のスタンダードへ



導入企業数（2025年末時点）。2026年も爆発的な勢いで拡大中。



サマリアを支える基本特許取得数（2025年末時点）。

Conclusion Card

2026年上半のサマリアは、知財業務の全プロセスを自動化・高度化するプラットフォームへと到達しました。

点在していた業務ツールを「ひとつのシームレスなAIエンジン」に統合することで、知財部門の役割は作業から「真の戦略的価値創出」へとシフトします。